

(2016年10月現在)

本店	〒730-0855	広島市中区小網町6番12号	(082) 291-7411
技術センター製器工場	〒733-0036	広島市西区観音新町1丁目1番36号	(082) 294-0555
広島統括支社	〒734-0007	広島市南区皆実町1丁目9番35号	(082) 253-7101
広島中部支社	〒739-0025	東広島市西条中央3丁目6番12号	(082) 423-2163
広島東部支社	〒720-0802	福山市松浜町4丁目2番28号	(084) 922-4850
岡山統括支社	〒703-8282	岡山市中区平井1164番地2	(086) 274-5433
倉敷支社	〒710-0803	倉敷市中島1390番2	(086) 466-6121
山口統括支社	〒753-0214	山口市大内御堀字黒坊上1316番地1	(083) 925-1960
山口東部支社	〒745-0814	周南市鼓海2丁目118番75	(0834) 36-3300
島根統括支社	〒690-0017	松江市西津田4丁目7番10号	(0852) 23-2260
鳥取統括支社	〒680-0811	鳥取市西品治字田島前ノニ816番地1	(0857) 23-4621
東京本部	〒163-1107	東京都新宿区西新宿6丁目22番1号 新宿スクエアタワービル7階	(03) 5324-5211
大阪本部	〒530-0054	大阪市北区南森町2丁目2番9号 南森町八千代ビル2F	(06) 6362-8651
九州支社	〒810-0022	福岡市中央区薬院3丁目6番20号	(092) 531-3661
電力建設所	〒739-0321	広島市安芸区中野1丁目5番4号	(082) 893-4111

環境報告書

2016

ENVIRONMENTAL REPORT 2016

この報告書について、ご意見、お問い合わせなどがございましたら、お気軽にお寄せください。

〈作成部署および連絡先〉

株式会社中電工 安全衛生品質環境部

電話:082-291-7532(直通) FAX:082-233-5107

Eメール:anzen@chudenko.co.jp



ISO9001 審査登録
電気・情報通信・空調・
給排水衛生設備工事・
架空送電線の建設
工事・電気機器製作

- 本店
- 技術センター製器工場
- 広島統括支社
- 岡山統括支社
- 山口統括支社
- 島根統括支社

- 鳥取統括支社
- 東京本部
- 大阪本部
- 九州支社
- 電力建設所

ISO14001 審査登録
本店業務
(設計・技術開発・
施工支援)
電気機器製作

- 本店



資源の有効利用のため、この冊子は古紙70%
使用しています。また印刷用インキは、環境にや
さしい大豆油インキを使用しています。

JQA-QM4594
JQA-EM2506

目次

- 会社概要 2
- トップメッセージ 3
- 環境マネジメントシステムの運用 4
- 環境負荷の全体像と環境目標 5
- お客さまからのご要望に応じて環境負荷を低減する 7
- 事業活動に伴う環境負荷を低減する 11
- 地域環境保全活動(地域交流・社会貢献) 13

企業理念

(1) 企業使命

総合設備エンジニアリング企業として、お客様のために高度な価値を付加した生活・事業環境を創出することにより、社会の発展に貢献する。

(2) 経営姿勢(業務活動の方向性)

- ① お客様・株主の信頼を獲得し、選ばれる企業を目指す。
- ② 環境に優しく、品質に厳しい企業を目指す。
- ③ 総合技術力の強化・向上を目指す。
- ④ 人を大切にし、安全で活力ある職場作りを推進する。
- ⑤ 受注の確保と経営の効率化を推進し、強固な経営基盤を堅持する。

(3) 行動指針

- ① 真心をもってお客様の信頼を築き、常にお客様の満足を仕事の成果と心がけ行動する。
- ② 自主と責任をもって素早く行動し、迅速な意思決定と業務処理のスピードアップを図る。
- ③ 従来のやり方にこだわらず、柔軟な思考と旺盛なチャレンジ精神をもって行動する。
- ④ 社会的規範の遵守はもちろんのこと、社会的良識をもって行動する。

編集方針

本報告書は、当社の事業活動の中から環境に関連する取り組みをまとめ、ご紹介するために作成しました。

ステークホルダーの皆さまが、当社の経営姿勢の一つ「環境に優しい企業を目指す」ために実施しているさまざまな取り組みについて、ご理解いただけるように心がけて編集しています。

対象期間

2015年度(2015年4月～2016年3月)の活動を中心にまとめていますが、一部2016年4月以降の活動も掲載しています。
 なお、施工・導入事例などに使用している資料については、上記以前に実施した情報を含んでいます。

対象範囲

株式会社 中電工(グループ企業の情報は含んでいません)

組織改正等に伴う対応

組織改正等により、事業場名称の変更があった場合は、変更後の名称を使用しています。(2016年7月1日付)

本報告書は、中電工ホームページに掲載しています。

<http://www.chudenko.co.jp/>

中電工 検索

会社概要

商号	株式会社 中電工 (CHUDENKO CORPORATION)
設立	1944年9月29日
資本金	34億8,190万5,850円
本店所在地	〒730-0855 広島市中区小網町6番12号 TEL082-291-7411
従業員数	3,663名(2016年4月)

業績の推移(中電工個別)

(単位:百万円…未満切捨)

年度	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2015	134,345	9,852	13,727	10,463
2014	133,944	8,213	14,919	10,054
2013	124,618	6,404	17,055	13,180



事業内容

電気設備工事

- 照明・コンセント設備
- 映像・音響・テレビ・放送設備
- 受変電設備
- プラント設備(計装・防爆工事を含む)

エネルギー関連

- 風力・太陽光発電システム
- コージェネレーションシステム
- 省エネ電源システム
- 自家発電システム

送配電線工事

- 送電線・配電線・引込線・地中線工事

情報通信設備工事

- インターネット・イントラネット設備
- CATV・防災無線・電話設備
- LAN設備
- 光通信設備
- 移動体無線通信設備
- システムインテグレーション
- 統合情報配線
- OAフロア設備

空調管設備工事

- 空調・冷暖房・給排水・衛生・環境設備
- クリーンルームシステム

水道施設工事

- 事務所・家庭用上下水道施設
- 工業用上下水道施設

環境関連

- リサイクルシステム
- 蓄熱システム

防災・消防設備工事

- 火災報知設備
- 盗難監視・警報設備
- 消火・避難誘導設備

リニューアル・リフォーム

- ビル設備のリニューアル
- 住まいのリフォーム

鉄塔工事

土木建築工事

- 道路・建築物の建設・補修・改修

電気機器の設計・製作・販売・修理・据付・保守

- 配電盤・監視盤・制御盤・電源用機器・通信用機器・強電用機器・各種計測機器など

ソフトウェア開発

- ソフトウェア及び情報処理システムの企画・開発・販売・賃貸・運用・保守

コンサルティング・メンテナンス業務

- 省エネ診断・支援業務
- 防災・消防設備点検

トップメッセージ

当社は、環境に優しい企業を目指して、総合設備エンジニアリング企業としての技術力を活かし、お客さま設備の環境負荷低減へのニーズに応えること、ならびに自らの事業活動に伴う環境負荷低減に努めることが社会的な責任であると考え活動しています。

お客さまからのご要望に応じて環境負荷を低減する活動として、再生可能エネルギーの導入や設備の省エネルギーの提案・支援を通じて、お客さまの満足が得られるように取り組んでいます。

太陽光発電システムについては、家庭用からメガソーラーまで数多くの設備に携わることができ、豊富な経験を活かしたしっかりとした技術で対応しています。施工への創意工夫も実施しており、ソーラーモジュールのバーコードの整理を容易にするためのバーコード読取装置「ソーラーモジュールリーダー」を自社開発し、工期短縮につなげています。

設備の省エネルギーについては、LED照明や空調・給湯機器の効率化を目指したリニューアル・リフォームについて積極的な提案活動を実施しています。

お客さまの環境ニーズに応えるために、リニューアル提案専門の担当者を配置するなど提案営業の体制を整えとともに、工事において創意工夫した技術的成果を技術研究発表会を通じて水平展開するなど、技術的提案営業の強化に取り組んでいます。

また、当社の技術力をPRする機会としてJECA FAIR(電設工業展)を始めとする展覧会等への出展も継続して実施しています。特に今年度は、コンセント配線の誤結線、断線を判定する試験器をJECA FAIRの製品コンクールに出展し、「一般社団法人日本電設工業会奨励賞」を受賞することができました。今後、この試験器を有効に活用し、効率的で確実な確認作業

により誤結線を防止し、手直し等による無駄がでない作業につなげていきたいと考えています。

自らの事業活動に伴う環境負荷を低減するため、事業場設備の省エネルギー、太陽光発電システムの導入、車両燃費の向上などのエネルギーの削減活動や廃棄物の再資源化、グリーン購入などの資源循環のための活動に継続して取り組んでいます。

これらの活動を推進するために「環境読本」を全従業員に配付するなど、環境に関する知識・意識の向上に努めています。

また、地域に密着した企業として地域貢献活動に力を入れており、継続実施している「おかげさま旬間」や「環境月間」の機会に、地域清掃活動や社会福祉施設の電気設備点検などの活動を実施しています。

当社は、地球温暖化をはじめとする環境への課題に向き合い、健康で快適な環境づくりに貢献するため、事業活動を通じた環境負荷低減活動に真摯に取り組んでまいります。



代表取締役社長
小畑 博文



中電工に住んでいる犬のコーギー。
大きな耳はみんなの「こうしたい!」という思いを聞き取るため。
大きな目はいちばん新しい技術や商品を見つけるため。
緑色のポケットからは、みんなの暮らしをステキにするアイデアや道具や商品がどんどん飛び出してくるよ!
こう見えてとっても足が速くて、どこからか「こうしたい!」という声が聞こえると、すばやく走って「こうしよう!」と提案するんです。

環境マネジメントシステムの運用

当社は「お客さまのために高度な価値を付加した生活・事業環境を創出することにより、社会の発展に貢献する」を企業使命とし、「環境に優しい企業を目指す」ことを経営姿勢の一つに定め、その実践に向けて日々努力しています。

経営の全体的な計画や実績の集約・統括の役割を担う本店部門では、ISO14001に適合した環境マネジメントにもとづいて環境目標を設定し、その施策を支社・営業所に展開することにより全店の環境活動を実践しています。

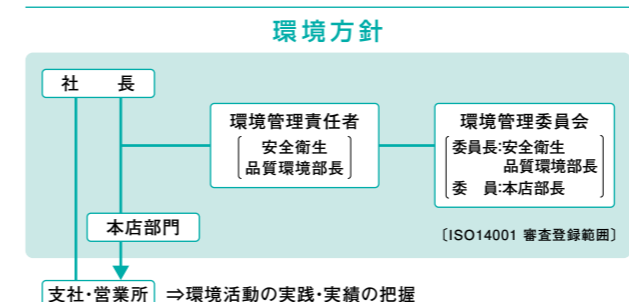
また、中国電力株式会社を中心とするエネルギーグループでの環境マネジメントにも参加し、グループ大での環境活動を実施しています。

環境マネジメントシステム運用の体系

環境マネジメントシステムに関する重要事項は、本店の部門長を委員とする環境管理委員会で審議・検討を行っています。

環境管理責任者は環境マネジメントシステムの運用状況を社長に定期的に報告し、改善指示を受けることによりPDCAサイクルを動かしています。

環境マネジメントシステムの体制



ISO14001 審査登録状況

(2016年10月1日現在)
登録日:2002年7月19日
有効期限:2018年9月14日
対象範囲:株式会社中電工 本店
活動範囲:総合設備エンジニアリング企業における本店業務(設計・技術開発・施工支援)および電気機器(配電盤、制御盤など)の設計・製作・施工

中国電力グループでの環境活動

中国電力(株)を中心とする中国電力グループでは「中国電力グループ環境行動計画」を定め、活動しています。

運用にあたっては、「中国電力グループ環境管理要綱」にもとづく活動の実践、「中国電力グループ環境委員会」への参加などを通じて、グループ大の活動を推進しています。

環境方針

基本理念
中電工は、地球環境に配慮し、自然との共生を経営の重要課題の一つとらえ、総合設備エンジニアリング企業としての技術力を駆使して、豊かな明日の創造と健康で快適な環境づくりへ貢献する

基本方針

- 1 環境マネジメントシステムを構築・運用し、継続的改善および環境汚染の予防に努める。
- 2 環境保全のための目的・目標を設定して実施し、定期的に見直す。
- 3 省エネルギー・省資源、廃棄物の削減・リサイクルの推進に積極的に取り組み、環境負荷の低減に努める。
- 4 環境関連技術の開発を推進するとともに、環境影響の少ない製品および工事の提案を積極的に行う。
- 5 環境関連法規制および協定等遵守した活動を行う。
- 6 緊急事態の発生を予防するとともに、発生した場合に備えて訓練を実施する。
- 7 従業員の教育・研修を通じて、環境保全の意識向上に努める。

2001年10月1日制定
社長
中電工

当社環境方針ポスター

環境負荷の全体像と環境目標

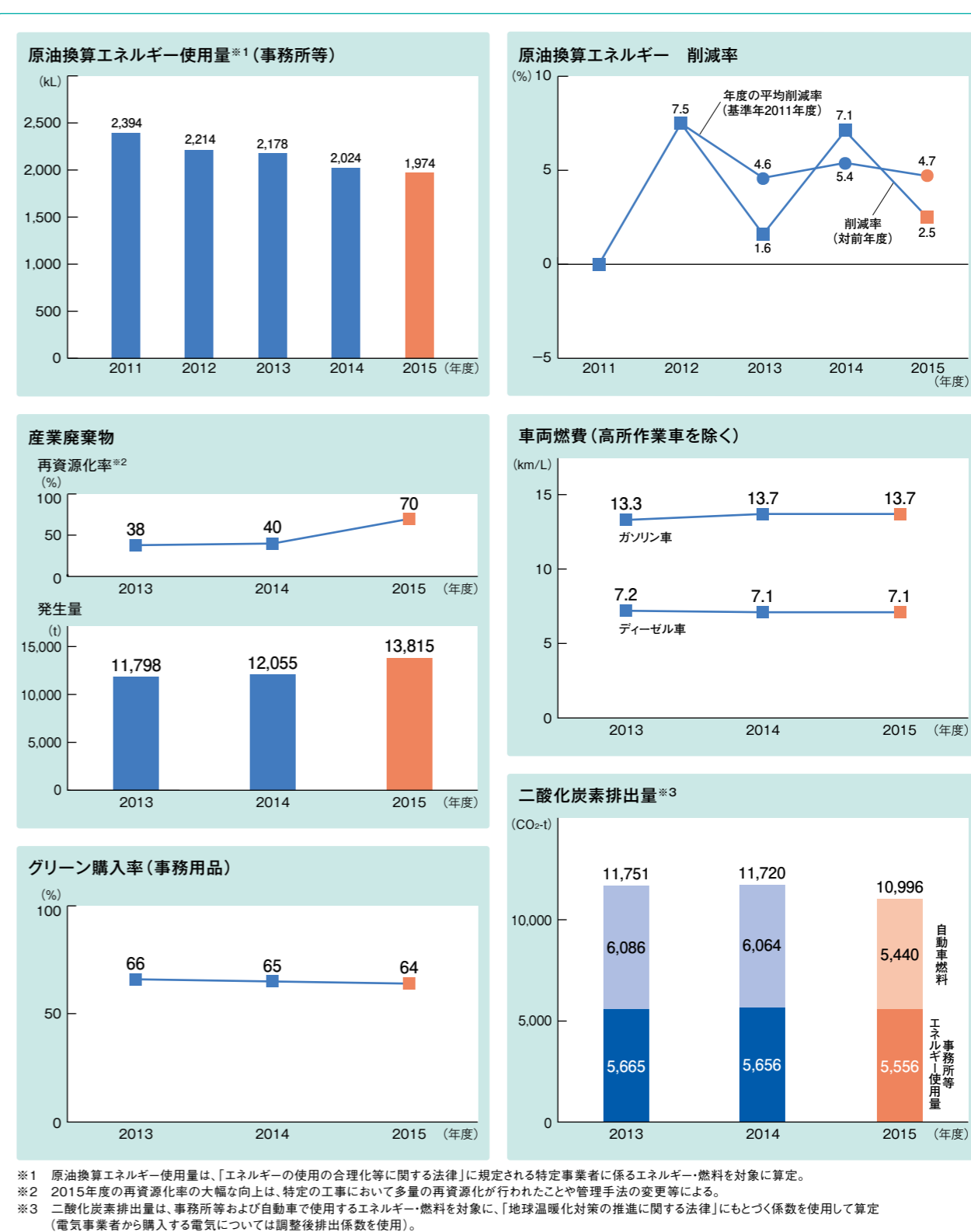
環境負荷の全体像(2015年度実績)



環境目標と実績(2015年度実績)

項目	2015年度目標	実績の概要
リニューアル工事に係る省エネルギー提案	提案件数 1,400件以上	◆ 1,178件
エネルギーの使用合理化(自社設備の省エネ関係)	原油換算エネルギー使用量 1%以上削減(2011~2015年度の年平均削減率)	◆ 年平均4.7%削減
車両燃費の向上	ガソリン車燃費 13.2km/L以上 ディーゼル車燃費 7.0km/L以上(高所作業車を除く)	◆ ガソリン車 13.7km/L ◆ ディーゼル車 7.1km/L
グリーン購入	事務用品のグリーン購入率66%以上(注: 注文件数比率)	◆ グリーン購入率64%
地域環境保全活動の実施	実施・参加件数 100件以上	◆ 実施・参加件数 114件

主要な環境パフォーマンスの推移



お客さまからのご要望に応じて環境負荷を低減する

当社は、お客さまのニーズにあわせて「環境に配慮した製品のご提案」を積極的に実施しています。
 お客さまのご要望に対して満足いただける設備の提供を目指して技術力・提案力の向上を図るとともに、お客さまが必要とされる情報が得られるように営業体制を整えています。

太陽光発電システムのご提案

太陽光発電システムは代表的な再生可能エネルギーで、2012年に「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法」が施行されて以降、急速に導入が進んでいます。

当社は上記法律施行以前から太陽光発電システムの施工に取り組んでおり、現在では住宅用からメガソーラーまで数多くの実績を持つこととなりました。

この実績を活かし、お客さまに満足いただけるご提案に努めています。



2007年に当社研修所に導入した垂直設置型両面受光太陽光発電設備



当初のメガソーラー施工
 氏神工業団地メガソーラー(2013年竣工)

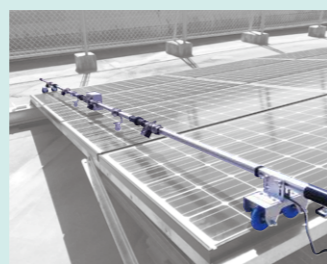


出雲クリーン発電太陽光発電所(2015年竣工)
 パネル枚数51,500枚／太陽電池容量約12.5MW

バーコード読取装置 「ソーラーモジュールリーダー」

太陽光発電では、発電設備の品質管理のために太陽光モジュールの設置位置およびその製造番号を照合した資料が必要となりますが、この資料作成に際して太陽光モジュールのバーコードを作業員が1枚ずつ読み取っていたため多くの時間を要していました。

そこで当社は読取作業の時間を飛躍的に短縮するため、太陽光モジュールの位置とバーコードを読み取り、資料を自動で作成できるソーラーモジュールリーダーを開発しました。



「ソーラーモジュールリーダー」太陽光モジュールの配列に合わせてソーラーモジュールリーダーを設置。水平移動してバーコードを読み込んでいきます。



「タブレットPC確認画面」太陽光モジュールの配列に合わせて、バーコードから読み取った製造番号を自動でデータ化します。

リニューアルのご提案

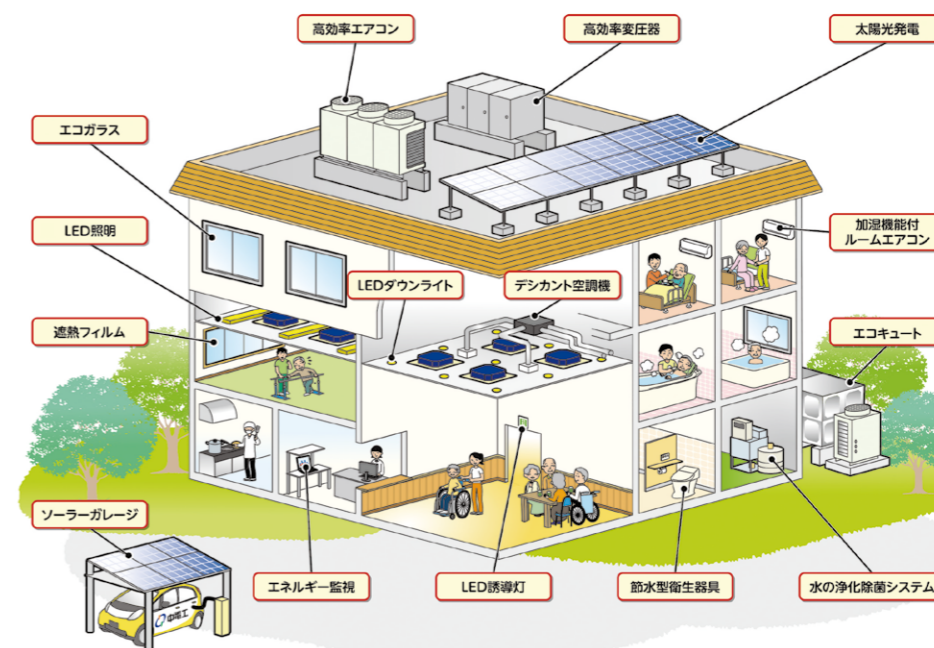
近年、更新時期を迎えた設備リニューアルのご要望が増加しています。

そこで当社は、リニューアルによってお客さまが以前より快適な生活・事業環境となり、また省エネ性能に優れランニングコストの低減が図れることを目指した提案活動を推進しています。

総合設備エンジニアリング企業としてのメリットを活かし、電気・空調設備を一括して、知識豊富な担当者がお客さまへの最適な環境をご提案します。

事務所・工場・高齢者施設など、豊富な施工実績を活かし、お客さまに満足いただけるリニューアルを目指しています。

■ 高齢者施設リニューアルポイント(事例)



担当者教育の実施

当社では、中国5県の拠点事業場にリニューアル提案営業専門の担当者を配置し、提案活動を実施しています。

リニューアル提案営業には、お客さまに費用面でメリットとなる行政機関の推進事業・補助金の状況、メーカーの製品・技術動向など、設備に関連する幅広い知識が求められます。

これらの情報の水平展開およびリニューアル営業に関する能力向上を図るため、定期的に担当者教育を実施しています。



担当者教育の様子

問題解決のヒント



■LED誘導灯
 LED誘導灯は省エネ性能が高く、ランプ交換やメンテナンスも容易。サイズもコンパクトになっています。



■エコキュート(業務用)
 高効率な給湯設備のエコキュートは安価な深夜電力利用によりランニングコストが大幅に低減。ボイラーと比べメンテナンスに係る労力が軽減できます。

JECA FAIR 2016への出展

2016年5月25日～27日までの3日間、インテックス大阪にて日本最大級の電気設備機器等の総合展示会JECA FAIR 2016(第64回電設工業展)が開催され、当社も「技術の中電工」をPRするためにブースを開設し、さまざまな製品や技術を紹介しました。



中電工ブース

中電工ブースの出展品
● コンセント極性試験器【製品コンクール出展】
● 高齢者見守りシステム (視覚的情報提供システム(安来市と共同開発))
● 3D点群データのBIM活用
● 危険体験システム(墜落・アーク)
● 指定範囲監視システム「エリアセーブⅢ」
● 接地短絡判別器
● 小型相回転チェッカー
● リニューアル関係
● 安全実習棟の紹介

「コンセント極性試験器」が一般社団法人日本電設工業協会奨励賞を受賞

JECA FAIR 2016(第64回電設工業展)にて開催された第55回製品コンクールにおいて、当社が開発したコンセント極性試験器が「一般社団法人日本電設工業協会奨励賞」を受賞しました。



試験器の展示・PR



表彰式の様子

■ コンセント極性試験器【特許出願中】

本装置は、AC100Vのコンセント(2極・3極)の誤結線、断線を判定する試験器です。

従来のコンセント試験器は、商用交流電源が必要なうえ、電源線の断線判定ができませんでした。

今回、開発したコンセント極性試験器は、判定電源として単三電池を内蔵した送信器と極性判定を行う受信器から成り、商用電源を必要としません。また、誤結線はもちろんのこと、電源線が断線時でも判定可能とした製品です。

本製品はコンセント結線の判定を表示ランプで行い、同時に誤結線や断線等はブザーの発報で知らせることで、確実に効率の良い確認作業ができます。

試験電源に低電圧の電池を用いることで感電の危険性が低く、また、本製品を誤って通電中(100V)のコンセントに使用した場合でも保護回路が働くので、安全に使用することができます。



コンセント極性試験器



極性判定を行う受信器

技術研究発表会の開催

技術研究発表会は、日常業務を通じて創意工夫した技術的成果を全店に水平展開することにより、技術力の強化と技術的提案営業の推進に役立てるとともに、技術職員の活性化を図ることを目的として毎年実施しています。



発表会の様子

2015年度の発表会(2015.11.25)では「安全性の強化」、「工事品質の向上」、「お客さま満足度の向上」、「工事原価の低減」、「リニューアル・リフォーム」、「省エネ・環境保全」に係る課題について、お客さまからの要望に応じて、高い技術力と創意工夫を発揮した数多くの施工事例や研究成果が発表されました。

設計技術・電気工事技能競技会の開催

2015年11月18日～19日の2日間、設計技術・電気工事技能競技会を開催しました。



設計技術部門の競技会の様子

この競技会は、「技術の中電工」の体制づくりの一環として、設計企画力・技術提案力および施工技能を競い、お客さまの満足度・信頼度向上を目指す目的で隔年開催しているものです。



電気工事技能部門の競技会の様子

設計技術部門では、「某事務所」・「某病院」・「某養護施設」の新築計画から1課題を選択し、変化する社会環境(フレキシビリティ、地球環境保護)に適合する各設備の提案書の作成に挑みました。

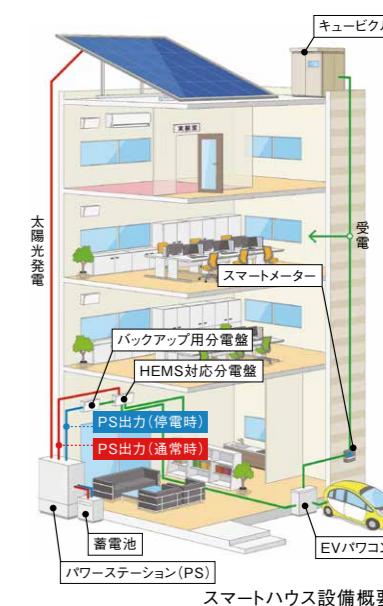
電気工事技能部門では、中電工グループの社員5名が課題「三相3線式200V電源および制御回路における器具取付けと、金属管・合成樹脂可とう管・ビニール電線管を使用し、電線ケーブル工法を総合的に組み合わせた施工」について技能を競い合いました。

スマートハウスへのHEMS活用

当社では、今後HEMSの普及が急速に進んでいくことを見すえ、その対策の第一歩としてスマートハウス模擬設備を技術センターに設置しています。

2015年8月7日には当社の住宅リフォーム工事担当者を対象としたHEMS設備見学会を開催しました。

この見学会は、最新の省エネ設備の知識・技術を得ることにより、今後、より積極的な提案営業を行うことを目的としたものです。



HEMS設備見学会の様子

事業活動に伴う環境負荷を低減する

事業活動に伴うエネルギー消費や廃棄物などの環境負荷を低減する活動は、地球温暖化をはじめとする環境への影響を緩和するために重要です。

当社では、事業活動に起因するこれらの環境負荷を低減するために、さまざまな取り組みを実施しています。

事業場の省エネルギーおよび再生可能エネルギーの導入

当社は省エネルギー法の特定期間指定事業者として指定されており、法にもとづく中長期計画書の策定およびエネルギー使用状況等の定期報告を通じて、建替えや設備更新を計画的に実施することにより、事業場の省エネルギーを進めています。

2015年度も空調機・照明器具の更新を行い、エネルギー使用量の削減を進めました。

2015年度の設備更新実績	
空調機更新	10事業場
照明器具更新	6事業場
建替(太陽光発電等)	1事業場



新築の廿日市営業所(2016年2月竣工)

【廿日市営業所(新築)に採用した環境配慮設備】

- LED照明
- 太陽光発電設備設置(屋上)
- 太陽光発電フィルム(窓の一部)
- 「エネ得」(エネルギー監視装置)

社有寮の環境配慮

社員の生活の拠点となる社有寮についても、一般生活における環境負荷低減に貢献するため、建替え・設備更新の機会を通じて環境に配慮した設備の導入を進めています。

2015年度に新築した岡山寮では、屋上に太陽光発電設備を設置するとともに、照明設備には省電力型(居室)およびLED(共用部)を、給湯設備にはヒートポンプ給湯機(エコキュート)を採用しました。



新築の岡山寮(2015年11月竣工)

本店 電気ビルに電気自動車充電設備を設置

本店 電気ビルに電気自動車充電設備を設置しました。

環境負荷低減に効果のある電気自動車の利用を推進するため、電気ビルに来館したお客さまも無料使用ができるようにしています。



- 利用時間
8:30~17:00(営業日のみ)

緑のカーテンで省エネに取り組んでいます

「緑のカーテン」とは夏季の強烈な日差しを緩和するため、ゴーヤなどのツル性植物を窓際に植えて対策を行うことをいいますが、遮光だけでなく、植物が育ち緑が増えていく様子は心を豊かにするものです。

2016年度も多くの事業場で「緑のカーテン」を実施しました。



益田営業所(2016年7月撮影)

- 2016年度 実施事業場
 - ・三次営業所
 - ・川本営業所
 - ・金川営業所
 - ・山口東部支社
 - ・益田営業所

高所作業中のアイドリング低減

高所作業を伴う配電線作業には高所作業車を使用しますが、高所作業用のバケットを動作する電源のために従来はエンジンのアイドリングが必要であり、夜間騒音・排気ガス・エネルギーの無駄が生じていました。



高所作業車を使用した配電線作業

そこでバケット動作用バッテリーの大容量化により高所作業中のアイドリング停止を可能とした車両の導入を進めることとし、高所作業車全体の78%(2015年度末実績)に導入しています。

また、配電線作業に伴う交通規制エリアの縮小および運行車両に係る燃料使用量削減のため、作業車両の積載量を増やし、車両台数を削減する取り組みも行っています。



- 大容量バッテリー部
- 高積載部

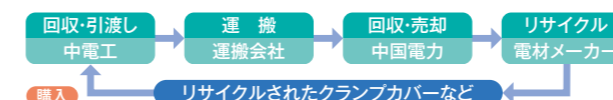
配電線用高圧引留クランプカバーのリサイクル

配電線設備で使用されている高圧引留クランプカバーは交換時に回収、リサイクルされています。

同カバーのリサイクルシステムは中国電力グループ・取引先企業が一体となって進めており、当社は適切な回収およびリサイクルされた製品の購入により、このリサイクルシステムを支えています。



高圧引留クランプカバーの回収



エコオフィス・エコドライブ

日常的な照明・空調・OA機器の使用や自動車使用については、エコオフィス・エコドライブを実践し、省エネルギーに努めています。

環境活動の全般的な情報展開については全従業員を対象にした「環境読本」の配付や環境一般教育を活用しています。

またエコドライブの自覚を高めるために自動車に「エコドライブ宣言車」を表示しています。



環境読本



エコドライブ啓発用ステッカー



「エコドライブ宣言車」ステッカー

事務用品のグリーン購入

事務用品の購入には「Biznet」を採用しています。

商品選定時に使用するカタログから環境ラベルやグリーン購入ガイドラインへの適合状況などが確認でき、また購入データが使用可能なことから、グリーン購入の推進に活用しています。



グリーン購入に関する情報も掲載された商品カタログ

【当社の事務用品のグリーン購入基準】

- グリーン購入法適合
- GPNエコ商品nett掲載
- エコマーク
- グリーンマーク
- 詰替・交換可能、詰替容器への配慮

地域環境保全活動(地域交流・社会貢献)

当社は地域に密着した企業として皆さまとのコミュニケーションを重視し、地域清掃などの地域環境保全活動に積極的に取り組んでいます。

おかげさま旬間

当社は毎年度、地域社会への感謝の意を表すための活動を実施しています。その活動は例年「おかげさま旬間」として実施しています。

2015年度は11月9日～18日までの10日間、お客さまへの訪問や社会奉仕活動を通じて、日頃のご愛顧に対する感謝の気持ちをお伝えしました。

2015年度 おかげさま旬間



木次大橋イルミネーションの電気設備点検・清掃
(雲南営業所)



水木しげるロードの街路灯点検・清掃および妖怪像の清掃
(米子営業所)



備前市関谷周辺の樹木伐採
(備前営業所)



吉香公園の街路灯・周辺清掃
(岩国営業所)



気象庁気象研究所周辺の清掃
(東京本部)

OC東野崎太陽光発電所で環境学習会を開催

OC東野崎太陽光発電所(岡山県玉野市)にて、小学生を対象にした「環境学習会」を開催しました(2015.12.8)。

これは、次世代を担う子供たちが、少しでも環境やエネルギー問題について理解を深めていただければとの思いから、地域社会奉仕活動の一環として、開催したものです。

同発電所は、当社とオリックス株式会社が出資して設立したOCソーラー株式会社の発電所です。



パネルを前に説明する様子



地球温暖化や太陽光発電について説明する様子

環境月間での地域行事への参加など

毎年6月に実施される「環境月間」にあわせて、地域社会に少しでも役立つような活動を実施するとともに、地域で実施される環境保全活動へ積極的に参加しています。

また、本月間を省エネ・省資源活動の啓発や整理・整頓・清掃の機会と捉えて、朝礼での啓発や社内清掃活動等を積極的に実施しています。

2015年度 環境月間



ごみゼロ・クリーンウォーク(本店・広島統括支社 他)



近隣地域清掃
(松山営業所)



リフレッシュ瀬戸内統一行動
(竹原営業所)



「排水溝」及び「クリーンまつえ」(一斉清掃)
(島根統括支社)

2015年度 エネルギアグループ環境月間

中国電力グループ全体で実施される「エネルギアグループ環境月間」にも同調し、さまざまな活動に参加しています。



真綿川公園のゴミ拾いおよび除草
(宇部営業所)



三朝街路灯清掃
(倉吉営業所・鳥取電力センター)

社内活動



環境月間 朝礼(広島統括支社)



構内清掃
(安来営業所)



エアコンフィルタ清掃
(高梁営業所)

新入社員の地域社会奉仕活動

2016年度入社の新入社員が教育研修の一環として平和記念公園、MAZDA Zoom-Zoomスタジアム広島、広島城などで清掃活動を行いました。

清掃活動を通じて、社会人として、また地域に根ざした企業である中電グループの社員としての自覚を醸成する目的で実施したものです。



4月11日～13日の3日間にわたり清掃活動を実施